

# 地球的課題の解決に向けて、 自分たちにできることから始めよう

氏名：八柳 英子

学校名：秋田県立五城目高等学校

担当教科：地理歴史(地理)

実践教科：地理歴史・地理

時間数：7 時間

対象学年：3 学年

人数：45 名（地理選択者）

## 【実践概要】

【1】単元(活動)名：「地球的課題と私たち」

【2】単元目標：

地球的課題について、要因や現状を理解し、自分の生活との関連を考えるとともに、その解決に向けて主体的に取り組む力を育む。

関連する学習指導要領上の目標

- (1) 地理的な課題の解決に向けて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらをもとに議論する力を養う。
- (2) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

|                    |               |   |
|--------------------|---------------|---|
| 【3】<br>単元の<br>評価規準 | ①知識及び技能       | 地球的課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、それをまとめることにより課題の現状や要因、課題相互の関連性などについて理解している。        |
|                    | ②思考力、判断力、表現力等 | 地球的課題について、自分たちの生活との関連を踏まえながら、多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて取り組んでいくことについて、自分の言葉で表現することができる。 |
|                    | ③学びに向かう力、人間性等 | 地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、よりよい社会の実現を視野に主体的に解決しようとしている。                  |

|  |   |
|--|---|
| <p><b>【4】</b></p> <p>単元設定の理由・単元の意義(児童/生徒観、教材観、指導観)</p> | <p><b>【単元設定の理由】</b></p> <p>高等学校の地理においては「地球的課題」について学ぶ機会がこれまでも多く設定されているが、これまでの実践ではどうしても他人事としてとらえてしまう生徒が多く、生徒自身の生活と関連させて課題の解決に取り組む実践が少なかった。次期学習指導要領で実施される「地理総合」では、「持続可能な社会づくり」の観点を中心課題とされ、学習者が地理的な課題の解決策、改善策を考察、構想することにより実社会に出ても継続的に「持続可能な社会づくり」について取り組んでいくことが期待されている。</p> <p>そこで、本単元においては、「地球的課題」について、自分たちの生活と関連させながら、生徒自らが課題を追究していくことにより、課題の解決に向けて自分たちの生活のあり方が大きく関わっていることや、自分と世界がつながっていること、自分が社会の一員であることも認識させたいと考え、本単元を構築した。</p> <p><b>【単元の意義】</b></p> <p>次期学習指導要領の地理総合においても、「地球的課題については、国際連合における持続可能な開発のための取組などを参考に、一中略一 特色ある事例を選んで設定すること。」と記載されている。また現在、「地球的課題」の解決に向けて、世界各国で多くの人々が様々な対策に取り組んでいる。次代を担う子どもたちにこそ、地球が抱えている課題について考察させ、解決に向けて取り組んでいくことの重要性を認識させていきたい。</p> <p><b>【児童／生徒観】</b></p> <p>3年次から地理を選択履修している生徒である。学習意欲は高く、地理学習に対して前向きに取り組む生徒が多い。これまでの地理学習のまとめとして、「地球的課題」について自分たちでテーマを設定し、課題を追究させていきたい。</p> <p><b>【指導観】</b></p> <p>世界各地で見られる地球環境問題、食料問題、エネルギー問題などを基に、「地球的課題」の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観した後、自分たちでテーマを設定し、調査・発表を行う。調査に関しては、現状と課題の解決に向けてすでに行われている取組に関してもふれるように指導したい。その内容を踏まえ、課題の解決に向けて自分たちにできることについて考察させたい。</p> |
|--|---|

| 【5】単元計画 (全7時間) |  |   |   |
|----------------|--|---|---|
| 時              | 『小単元名』・学習のねらい  | 学習活動  | 資料など  |
| 1              | 『SDGs について』<br>SDGs について理解する。                          | 地球的課題の解決に向けて、どのような取り組みがされているかを確認する。<br><br>SDGs の 17 のゴールの中で、自分が優先的に取り組みたいものを考える。   | 動画視聴【外務省×SDGs】どれから始める？未来のために<br><br>私たちがつくる持続可能な世界（ユニセフ）  |
| 2<br>～6        | 『テーマを設定し、調査・発表準備』<br>地球的課題について、グループごとにテーマを設定し、調べ、まとめる。 | グループごとに、テーマを設定する。<br><br>設定したテーマをもとに、情報を収集する。<br><br><div data-bbox="651 728 1168 1108" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">[ 情報の収集 ]</p> <p>収集した情報を読み取る。</p> <p>模造紙にまとめ、発表の準備をする。</p> <div data-bbox="651 1370 1168 1742" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">[ 調べた内容を模造紙にまとめる ]</p> | 未来を変える目標<br>SDGs アイデアブック(Think the earth)<br><br>東北から SDGs (JICA 東北)<br><br>共につくる私たちの未来(JICA 地球ひろば)<br><br>SDGs がわかる本 (文溪堂) |

|                    |  |  |  |
|--------------------|--|--|--|
| <p>7</p> <p>本時</p> | <p>『自分たちにできることを考える』</p> <p>ポスターセッションを通して、発表する力や聞き取る力、コミュニケーション能力を身に付ける。</p> <p>地球的課題の解決に向けて自分たちにできることを考える。</p> | <p>ポスターセッションを通して、地球的課題について、自分たちが調査しまとめたことを、聞き手に分かりやすく説明する。</p> <p>聞き手は、発表者の発表内容について注意深く聞き、疑問点を質問する。</p> <p>一人ひとりの取り組みが地球的課題の解決につながっていることを理解する。</p> <p>タンザニアの映像を通して世界を知る</p> <p>地球的課題の解決に向けて自分が取り組んでいきたいこと (MY SDGs) を記入する。</p> | <p>模造紙 (生徒作成)</p> <p>パワーポイント</p> <p>タンザニア映像</p> <p>MY SDGs 模造紙</p> |
|--------------------|--|--|--|

| <p>【6】 本時の展開 (7 時間目)</p>  |   |  |   |
|---|---|--|---|
| <p>本時のねらい：ポスターセッションを通して、地球的課題を多面的・多角的にとらえるとともに、課題の解決に向けて自分たちにできることを考えることができる。</p> |   |  |   |
| <p>過程・時間</p>  | <p>教員の働きかけ・発問および学習活動<br/>・指導形態</p>  | <p>指導上の留意点<br/>(支援)</p>  | <p>資料 (教材)</p>  |
| <p>導入<br/>(5分)</p>  | <div data-bbox="316 1025 778 1155" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>地球的課題の現状やその対策について理解しよう。</p> </div> <p>○ポスターセッションの目的を確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分たちが調査した内容の確認をする。</li> <li>2. 発表者は聞き手にわかりやすい表現や説明を意識する。</li> <li>3. 聞き手は相手の説明を理解するよう努める。</li> </ol> <div data-bbox="288 1525 823 1906" style="text-align: center;"> </div> <p>[ 本時の目標 ]</p> | <p>全員が発表することを確認する。</p> <p>発表者は、聞き手側をしっかりと意識して発表をするように指示する。</p> <p>聞き手側は、疑問点を質問し、解決するように指示する。</p> | <p>模造紙 (生徒作成)</p> <p>各班のテーマ</p> <p>○海の豊かさを守ろう～プラスチックゴミの削減を目指して～</p> <p>○飢餓の原因と対策を考えよう～今、私たちにできること～</p> <p>○飲み水の現状</p> <p>○愛する人を守るために～災害から身を守るには～</p> <p>○世界の貧困～貧困が起こる原因を知る～</p> |

展開  
(40分)

○ポスターセッションをする。



[ 発表の様子 ]

○各班の発表後、その場で質疑応答をする。

○質疑応答後、聞き手側が発表内容に対して評価をする。

地球的課題の解決に向けて、  
自分たちにできることを考えよう。

○タンザニアの映像を通して、世界を知る。



[ タンザニアの映像を視聴 ]



[ タンザニアの実物教材 ]

5分説明

○食品ロスを減らし、  
世界の食料問題を  
なくそう

○地球温暖化の現状  
と対策～ Protect  
our earth～

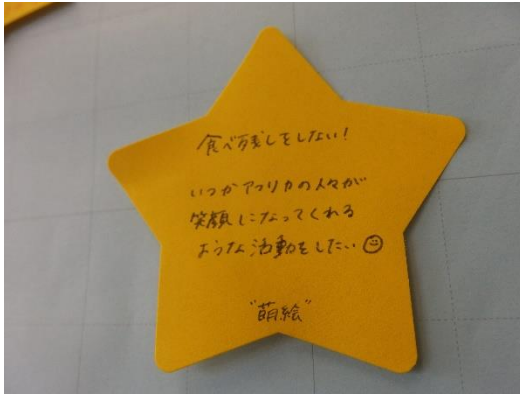
質疑応答

感想の記入

実際の映像を通し  
て、世界の人々の生  
活を知る。

タンザニア(キラカラ  
小学校)映像  
・水くみの動画  
・朝会の動画  
・授業前の動画  
・授業中の動画  
・遊びの動画

○地球的課題の解決に向けて今日から取り組むこと(MY SDGs)を考える。



[ MY SDGs の一例 ]



[ MY SDGs ボード ]

一人ひとりの取り組みが地球的課題の解決につながっていることを理解する。

付箋に記入させ、模造紙に貼る。

パワーポイント

【資料1】

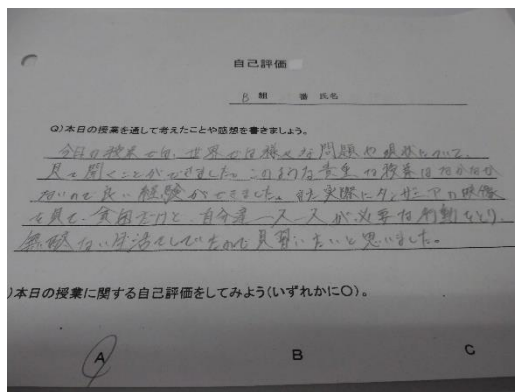
MY SDGs ボード

まとめ  
(5分)

○授業の振り返り

ワークシートに自己評価を記入させる。

自己評価用紙



[ 自己評価用紙 ]

**【7】 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）**

**【知識及び技能】** 地球的課題の現状を理解するとともに、課題の解決に向けて自分たちにできることを自分の言葉でまとめることができる。

**【思考力、判断力、表現力】** 地球的課題について、自ら調べ、考えた内容を自分の言葉で表現し、他者に伝えることができる。

**【学びに向かう力、人間性等】** 地球的課題について関心を高め、課題の解決に向けて自分たちにできることを考えることができる。

**【8】 学習方法及び外部との連携**

今回の授業実践では、普段の授業では実践する機会の少ないポスターセッションに挑戦した。これまでも総合的な学習の時間などで実践したことはあったが、教科での実践は時数などの都合上難しかった。地球的規模の課題を他人事ではなく自分事にしたいという思いからこのような授業方法を実践したが、生徒は大変意欲的に取り組んでいた。今回の実践を通して、地球規模の課題であっても自分たちの生活と大きく関わっていることや、自分の生活を見直すことで様々な課題を少しずつ解決することができることを実感できた生徒も多くいた。他教科と連携することで、さらに「深い学び」が可能になると考える。

**【9】 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組**

本校で行われているオープン授業デー（学校公開）に合わせて実践した。当日は、他教科の先生方にも授業を参観していただき、SDGsについて広めることができた。

今後は、自分自身の研修をさらに進め、今回の実践をさらに改善させながら、実践発表などの機会を利用して多くの人々に国際理解教育の重要性を広めていきたいと考えている。

**【自己評価】**

|                    |  |
|--------------------|--|
| <b>【10】 苦勞した点</b>  | ポスターセッションの方法について、他の先生方のご意見をいただきながら実践することができた。授業後の協議会では、評価の仕方をどうするかという点をご指摘いただいた。今後は、評価方法をさらに検討していきたい。  |
| <b>【11】 改善点</b>    | 今回は実践することができなかったが、単元構成の最初の段階で、「世界がもし 100 人の村だったら（特定非営利活動法人 開発教育協会）」などのワークショップを取り入れることで、世界の現状を更に実感できるのではないかと考える。また、ポスターセッションの後、自分の地域の課題などに目を向けさせる時間を設定しても効果的であると考えます。 |
| <b>【12】 成果が出た点</b> | 本単元を実践後、地球的課題に関する意欲が高まっている生徒が多くみられ、授業後も様々な課題に対し自分で調べていく姿勢がみられた。さらに、自分の生活を見つめ直し、食品ロスやプラスチックゴミを少なくしていく努力をしている生徒も多くみられた。「いつまでも住み続けられる地球」を意識しながら生活をしていきたいという意見が多くみられた。   |

|  |   |
|--|---|
| <p>【13】 学びの軌跡<br/>（児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）</p> | <p>授業後の感想（学習した内容を踏まえ、今後どのように生きていきたいかを記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界では国によってこんなにも違いがあるのかということに驚いた。マイバッグの持参や食べ残しをしないなど、自分にできることを続けていきたい。</li> <li>・SDGsの授業を通して、自分が知らない知識を身につけることができた。この先、いつまでも地球に住み続けられる暮らしをしていきたい。</li> <li>・今の生活を当たり前と思わずに、しっかり感謝の気持ちを持って生きていきたい。また、自分にできることを継続して取り組んでいきたい。</li> <li>・授業を通して、世界には困っている人や苦しんでいる人々がたくさんいることに気づかされました。今後は少しでも困っている人の力になれるよう行動していきたいです。</li> <li>・私は春から人の命を守る仕事に就くので、今回学んだことを活用していこうと思います。まずは地域の人々の命を守るように地域の防災意識を高める取り組みをしていきたい。</li> <li>・食べ物を残すことによって環境にも影響が出てくるので、残さず食べることや賞味期限をこまめにチェックすることによって食品ロスを減らしていきたい。</li> <li>・私は家族と話し合い、買い物には必ずマイバスケットを持っていくことにしました。そうすることでレジ袋を作るための費用や排気ガスも減らせて地球に優しい生活ができると思います。</li> <li>・世界には解決できていない問題はまだまだあるので、自分たちにできることに積極的に取り組みたいです。</li> <li>・私たちの班は「海の現状」について発表しましたが、特にプラスチックゴミが深刻な問題となっていることを知りました。自分たちでもできる、ゴミのポイ捨てをしない、マイバッグを使う、ゴミ拾いをするなどして少しでも良い環境になるよう心掛けていきたいです。</li> <li>・世界の様々な課題に関して。いろいろと知ることができて良かった。どの班の発表も工夫されていてわかりやすく、自分たちにできることは何かをよく考えることができた。今回知った課題以外にどんな課題があるかを自分でも調べていこうと思う。</li> <li>・私たちは水について調べて発表したのですが、他の班の人の発表を見て、それぞれテーマは違うけど、向かう方向は同じだと思いました。これからは周りの人たちや、他の国の人も考えながら生活するように心掛けます。</li> </ul> |
| <p>【14】 授業者による自由記述</p>                       | <p>今回、教師海外研修に参加させていただき、大変多くのものを得ることができた。特に私は高校で地理を教えているので、自分の目で見えて感じたことを自分の言葉で生徒に伝えることが可能になるという点は今後の教員生活において大きな財産となる。特にタンザニアの人々の「今、この瞬間をHAPPYに生きていこう。Be happy. Don't worry! 」という言葉は、今の日本の子どもたちにも必要となってくる思考だと感じる。今回の研修で得たことを、多くの子どもたちや教員に伝え、同じ地球に生きる全ての人々が幸せになれるような世界を作っていけるように貢献したい。</p>  |



参考資料：

《 書籍等 》

- 「未来を変える目標 SDGs アイデアブック」一般社団法人 Think the Earth 編著（2018）  
「身近な課題の解決に挑む 未来の授業 私たちのSDGs 探究ブック」宣伝会議（2019）  
「自分ごとからはじめよう SDGs 探究ワークブック～旅して学ぶ、サステイナブルな考え方～」  
保本 正芳 中西 将之 池田 靖章 著（2019）ワークアカデミー  
「国谷裕子と考える SDGs がわかる本」国谷裕子監修（2019）文溪堂  
「基本解説 そうだったのか。SDGs」一般社団法人SDGs 市民社会ネットワーク（2017）  
「共につくる私たちの未来」JICA 地球ひろば(2019)  
「東北からSDGs」JICA 東北

《ウェブサイト》

- 外務省 JAPAN SDGs Action Platform <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>  
国連広報センター（UNIC） <https://www.unic.or.jp>  
ユニセフ（UNICEF） 学校のための持続可能な開発目標ガイド  
<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs>

添付資料：

【資料1】パワーポイント（一部抜粋）

### 本時の目標

- ①プレゼンテーションを通して、表現力や説明力を身につけよう！
- ②相手のプレゼンテーションを聞いて、的確に評価しよう！
- ③地球的課題の解決に向けて自分にできることを考えよう！

世界にはたくさんの方がいます。  
自分の行動が誰かを助けているかもしれません。  
今日からできることを実践してみましょう！



今...

地球がピンチ！

もしかしたら住み続けられないかも！？

みなさんの発表にもあるように、  
自分の生活が世界とつながっている...ということは

**自分の生活を見直すこと  
で誰かをHAPPYに  
できるかもしれない**

# 地球は、持続可能ですか？

MY SDGs(自分が今日から取り組むこと)を考えてみよう！

自分の行動が誰かを幸せにするかも...

～薬師寺のお坊さんの法話より～

人間は、自分の笑顔は自分で見ることができないが、周りの人を笑顔にすることができる。

→「周りの人を笑顔にできる人間になろう！」



### やってみよう！！

- ①自分たちの調査や、他の班の発表を聞き、今日から自分で取り組むこと＝MY SDGs(私の持続可能目標)を付箋に書いてみよう！
- ②書き終わったら、付箋をMY SDGs模造紙に貼ってみよう！

**本日のまとめ**